

103-314

問題文

72歳男性。男性の家族が処方箋を持って薬局を訪れた。薬を取りそろえる前に薬剤師が家族に服薬状況を確認したところ、錠剤やカプセル剤のような固形物の服用が難しいことが判明した。処方箋はすべて一般名処方であり、患者の希望があるので後発医薬品での調剤が可能である。

(処方1)

グリメビロド錠 1mg	1回1錠 (1日1錠)
	1日1回 朝食後 14日分

(処方2)

ボグリボース錠 0.2mg	1回1錠 (1日3錠)
	1日3回 朝昼夕食直前 14日分

(処方3)

アトルバスタチン錠 5mg	1回1錠 (1日1錠)
	1日1回 夕食後 14日分

問314

薬剤師は処方医に疑義照会を行い、対応策を提案することにした。この患者の特性に合わせた対応策として、適切なものはどれか。2つ選べ。

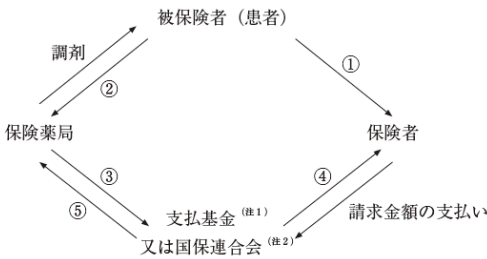
- 1. 一包化
- 2. 錠剤の粉砕
- 3. 処方薬剤数の削減
- 4. 口腔内崩壊錠への変更
- 5. 服用回数の削減

問315

この調剤を行った保険薬局は、健康保険制度に基づいて調剤報酬を請求できる。次の図は、一般的な調剤報酬の請求、審査、支払いの仕組みであり、①から⑤までは、次の用語のいずれかが当てはまる。

- 一部負担金等の支払い
- 審査済の請求書送付
- 調剤報酬の支払い
- 調剤報酬の請求
- 保険料の支払い

この図において、「調剤報酬の請求」はどれか。1つ選べ。



〔 注 1：支払基金：社会保険診療報酬支払基金
注 2：国保連合会：国民健康保険団体連合会 〕

1. ①
 2. ②
 3. ③
 4. ④
 5. ⑤
-

解答

問314 : 2, 4問315 : 3

解説

問314

グリメピリド（アマリール）→SU薬、ボグリボース（ベイスン）→ α -GI、アトルバスタチン（リピトール）→HMG-CoA還元酵素阻害薬です。糖尿病及び高脂血症治療中です。

問314ですが、患者の特性とは「固形物の服用が難しい」ということです。従って、粉砕して錠剤ではなく粉にしたり、口中で溶けて水なしでも飲み込める口腔内崩壊錠にするといった対応策が適切と考えられます。

以上より、問314の正解は2,4です。

問315

調剤報酬の請求なので、「薬局から支払基金又は国保連合会への請求」となります。

以上より、問315の正解は3です。